

ふと空を見上げると澄みわたり、いわし雲を発見。秋の気配を感じました。皆さまお元気でご活躍のことと思います。ピジャレアルに加入した、日本代表MF久保建英は、23日に行われたラ・リーガ2部に昇格したカルタヘナとのプレーシーズンマッチで実戦デビューしました。背番号「16」をつけた久保は、後半に登場したが、スペイン紙『アス』は、「控えめなデビュー」と表現。2戦目はかつて柴崎岳がプレーした2部のテネリフェと対戦。カウンターの流れでボールを受けると30メートルほどドリブルで独走してエリア内に持ち込みシュート。だがDFにブロックされてしまいました。28日に行われた3戦目のバレンシア戦はベンチスタート。1-1の後半22分に途中出場するも、得点には絡めずチームは1-2の逆転負けを喫しました。結論を出すのはまだ早い。これからが楽しみです。「16番」のユニホームの注文が殺到しているそうです。中村

～全国の建設業許可業者数の結果～ (令和2年3月末現在)

(河野)

一般・特定別許可業者数

(1) 一般建設業の状況 前年同月比

一般建設業許可を取得している業者は 449,015 業者 で、前年同月比では 3,711 業者 (0.8%) の増加。

(2) 特定建設業の状況 前年同月比

特定建設業許可を取得している業者は 46,451 業者 で、前年同月比では 709 業者 (1.5%) の増加。

業種別許可の総数

建設業の許可は、土木工事業、建築工事業等の29の業種が設けられている。令和2年3月末現在における業種別許可の総数は 1,607,814 業者 で、前年同月比 2.8% の増加 となった。

建設業許可業者数が最も多かった平成12年3月末時点の、業種別許可の総数は 1,392,339 業者 で、比較すると 15.5% の増加 となっている。

前年同月比

前年同月に比べて取得業者数が増加した許可業種は25業種となっており、増加数は解体工事業が12,656業者(29.3%増加)と最も高く、以下、とび・土工工事業2,820業者(1.7%増加)、内装仕上工事業2,250業者(2.9%増加)が続く。【解体工事業許可業者数が増加した要因】平成28年6月1日時点でとび・土工工事業の許可を受けている者で、解体工事業に該当する事業を営んでいる場合、令和元年5月31日までの間に限り、解体工事業の許可を受けずとも当該事業を営むことができることとされていたため、その期限を迎えるまでの間に解体工事業の許可を取得した者が増えたと考えられる。

資本金階層別業者数

令和2年3月末現在で、「資本金の額が300万円以上500万円未満の法人」が22.4%と最も多く、以下、「資本金の額が1,000万円以上2,000万円未満の法人 (21.8%)」、「資本金の額が500万円以上1,000万円未満の法人 (17.8%)」と続く。個人及び資本金の額が3億円未満の法人数は469,906業者となっており建設業許可業者数の全体の99.5%を占めている。

問い合わせ先

国土交通省 土地・建設産業局 建設業課 建設業適正取引推進指導室
TEL: 03-5253-8111 (代表) : 03-5253-8362 (直通)

知っちょい得

これに対して、改正により相続人に対する贈与は相続開始前10年間に行われた婚姻若しくは養子縁組のため又は生計の資本として受けた贈与の価格に限って遺留分の算定に算入することになりました。改正前は高齢の親が亡くなった場合でも遺留分の算定にあたり数十年前の学費の支払い、婚姻時の援助、生活費の援助等について特別受益の主張がなされて、紛争が長引くことや、古い特別受益が認定されることにより贈与を受けた相続人の地位も不安定になる等の不都合がありました。相続開始前10年間の特別受益に限定して遺留分の算定に算入されることによりそのような不都合が無くなりました(続く)。

千代田区六番町3番地1協和ビル6階
弁護士 渋谷和洋

建設業Q&A

Q. 許可年月日の異なる複数の許可を一度に更新したいのですが、どうすればよいのでしょうか?

A. 許可申請書類の「許可の有効期間の調整」で「1」(調整する)にして申請することで、許可年月日の異なる複数の許可を一度に更新(一本化)することができます。この場合、すべての許可について最も古い許可年月日の更新日に調整されることになります。なお、保有する一部の許可のみ有効期間の調整をすることはできません。 中村竜二

栗クリ

秋が旬の食べ物、思い浮かぶのはクリです。お菓子やクリを使ったスイーツ、茹でて食べても栗ご飯にしても美味しいです。クリは果物に分類されています。その理由は農林水産省が樹木になるものを果物と定めているためです。ちなみにイチゴは草花になり、野菜に分類されています。日本において、クリは縄文時代初期から食用に利用されていました。長野県上松町のお宮の裏森遺跡の竪穴式住居跡からは1万2900年前～1万2700年前のクリが出土し、乾燥用の可能性がある穴が開けられた実もあったようです。縄文時代のクリは静岡県沼津市の遺跡でも見つかった。ほか、青森県の三内丸山遺跡から出土したクリの実のDNA分析により、縄文時代には既にクリが栽培されていたことがわかっています。(渋谷)